

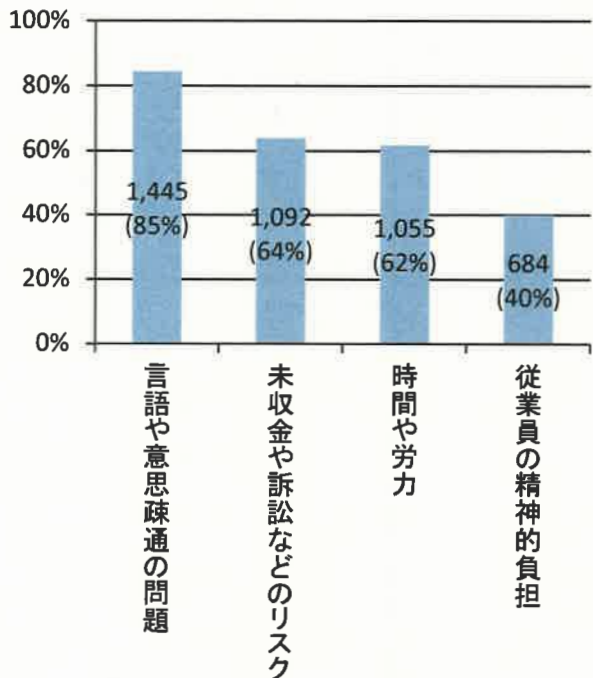
1 (3) 医療機関における外国人患者受入れ体制(負担感・トラブル事例・未収金)

- 過半数の医療機関において、言語や意思疎通の問題、未収金や訴訟などのリスク、時間や労力に、負担感を抱いていた。
- 外国人患者をめぐるトラブルとして、金銭・医療費に関するトラブル、言語コミュニケーション上のトラブルが上位に占めた。
- 平成27年度の1年間に、35%の医療機関は未収金を経験した。

① 負担感

外国人患者受入に当たり、
現在負担となっていることや今後不安な点

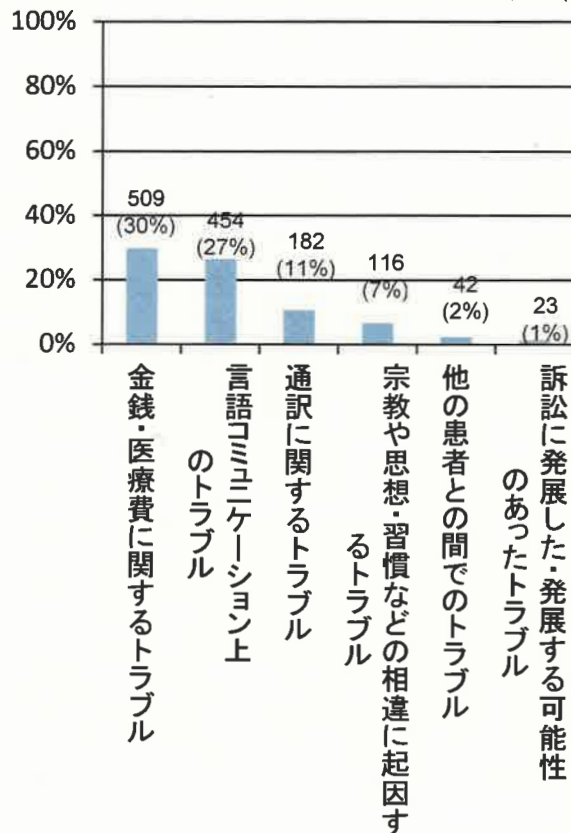
n=1,710 (複数選択)



② トラブル事例

ここ5年程度の間に起きた、
外国人患者をめぐるトラブル

n=1,710 (複数選択)



③ 未収金

平成27年度の1年間の未収金の有無

n=1,378

